



防災について
スポーツによる健康づくりの
促進について
資源ごみ分別の取り組みについて

池末 秀夫 議員

問 防災について災害時における対策本部の体制は万全なのか伺いたい。

答 市の防災体制は、その強化を図るため総務課で対応していた災害対策を4月より新設した地域支援課で行うこととした。

問 今後のスポーツによる健康づくりの促進に取り組む環境づくりについて伺いたい。

答 市民が気軽に参加できるように体育協会、地域で活躍されているスポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブなどのスポーツ関係団体とも連携しながら各世代のニーズに合った環境づくりについて検討したい。

問 資源ごみの今後の分別について伺いたい。

答 これまで市民協力のもと、4種16種類の分別を行ってきた。本年4月から新たに容器包装プラスチックのリサイクル事業を始めた。
問 プラスチックは分別後、地域のリサイクルステーションからどういった流れで処理されるのか伺いたい。

答 各地域から、環境課隣のセントラルリサイクルステーションへ持ち込み、マテリアルサーマル、燃えるごみの3つに分ける作業をしている。この二次分別の作業は、木の香園の障がい者の方の就労支援にもなっている。



大川市の将来像について

・その2
(来るべき災害にそなえて)

中村 博満 議員

問 本市の建造物で27年12月末までに、耐震診断の義務化と結果公表が課されている建造物はどこか。

答 市役所、消防署、文化センター、市民体育館で耐震診断がすんでいない。結果によっては、改修・補強の努力義務が課せられる。

問 小学校及び三又中は耐震診断、耐震化工事ともに終わったが、大川東中、大川南中、大川中学は耐震診断のみで、耐震化工事は終わっていない。工事費の予算は出ているか。

答 大川中学校が3億円、東中と南中が、それぞれ4億円ずつの概算が出ている。

問 3校の耐震化工事で11億円かかる。生徒数が5年後4校で776人との数字が出ており、中学校の合併を考える時期が来たのでは。

答 教育委員会で学校適正規模、適正配置計画案を作成後、10月を目処に第三者による検討委員会を設置し意見を聞き結論を出したい。

問 文化センターの耐震診断は大規模なだけに費用もかかる。まして耐震工事まで行うと大きな費用がかかる。老人福祉センターも診断すべきだが、この際総合プラザ的なものを検討すべきではないか。

答 一つの可能性としてはあり得ると考える。



鳩山市政について 都市計画道路、堤上野線の 進捗状況について

福永 寛 議員

問 市長就任後、公約の7つの誓いの実現に對しての、具体的な思いについてはどうか。

答 早期実現を目指し、政策を推進するための予算編成や組織機構改革を行った。市民が住みよさを実感できることが、最大のテーマであり、今後とも初心を忘れることなく、郷土への熱い思いを持つ方々と、心を一にして、その実現に向け努力を重ねたい。

問 人が集まる環境づくりにおける道路整備についてはどうか。

答 道路建設は、有明海沿岸道路を初め、着実に推進が図られており、国、県との更なる連携強化を図り、事業促進に努めたい。

問 おおかわセールの具体的な活動は。

答 シティセールスを行っており、多くの者が参加するイベント等で本市をPRしている。

問 都市計画道路、堤上野線の進捗状況、及び国道208号線までの延伸工事はどうか。

答 堤上野線の旧小保踏切から県道水田大川線までの区間は、28年度完成を目標に県事業として進められている。また、国道208号線までの延伸整備については、本事業に引き続き、遅滞なく進めていくよう県と連携強化を図り、積極的に取り組んでいく考えである。